

移動型バリアフリートイレトレーラー

モバイルトイレ

いざ、というとき一番サポートが必要な方へ



誰もがトイレを気にせず
外出できる社会を目指して



自治体の 皆様のメリット

普通免許でけん引
(けん引免許不要)

設営、
清掃が簡単

駐車場 1 台分で
保管できる

住民の 皆様のメリット

低床、緩やかな
スロープで安全

車いす利用者が
自走で入れる

衛生的で広い室内、
介助シート付

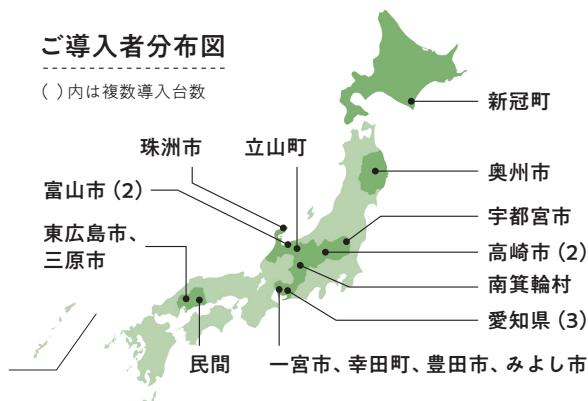
双方のメリット

災害時、平時を問わずに使える

※2026年3月時点の導入状況
保有者同士のネットワークも
発足しています(事務局・豊田市)

ご導入者分布図

()内は複数導入台数



[全国で導入が進んでいます]



避難所の高齢者・障害者用トイレとして
(24年2月・珠洲市)



市民祭りのバリアフリートイレとして
(25年8月・高崎市)

災害時

導入者 珠洲市 危機管理室主幹(兼)
危機管理係長 / 河原さん

24年1月に発生した能登半島地震の避難所で利用した市民の皆さまからも好評であったことから、補助金を活用して26年1月に導入しました。スロープ式のバリアフリートイレは誰でも使いやすく、避難所には必要な設備だと考えています。平時は、上下水道が使えない市営の施設で利用します。このようなトイレがもっと増えることを期待しています。



管理者 珠洲市 宝立小中学校
避難所 環境班リーダー /
小白さん・高さん

スロープがついているので、段差による転倒がなく高齢者や足の悪い方に好評でした。詰まりもなく管理が楽でした。避難所の状況に合わせて、いろいろなトイレを組み合わせて使うことが必要だと思います。



利用者 珠洲市 宝立小中学校避難所
被災者 / 武内さん

約7か月間、避難所で生活をしました。足が悪く杖を利用しているので、仮設トイレを利用する際はいつも気を使っていました。段差がなく、洋式便器で清潔なモバイルトイレはとても快適で助かりました。



Voice

導入された方や
利用された方の声を
集めました

Q & A

Q けん引運転が不安です

A 前進は問題なし。バックは手押しで対応しています
(豊田市職員)

Q 災害時に100回は少なくないですか？

A 他のトイレと組み合わせて、高齢者や障害者用とすることで混乱なく使えました
(珠洲市避難所管理者)

平時

導入者 豊田市防災対策課 / 中島さん

24年9月の導入以降、防災訓練やスポーツイベント、美術館来場者向けの屋外トイレなどとして利用しています。移動や設営が簡単なので、訓練も兼ねて平時から積極的に動かしています。室内が広く、衛生的なので障害があり外出先のトイレに抵抗感がある方でも入りやすいというお声をいただいています。

導入者 南箕輪村
観光森林課 / 有時さん

25年3月の導入以降、ユニバーサル化を進める公園の公衆トイレとして常設しています。建築確認申請が不要なので場所を選ばずに置き、いざというときは避難所に移動できることが導入の決め手です。平時は公園管理と合わせて維持管理できることも公園設置のメリットです。

導入者 高崎市総務部
防災安全1課 / 大谷さん

取り回しの良さが決め手となり、24年12月に災害対策の予算で2台導入しました。けん引運転を含め慣れれば運用が簡単なので助かっています。防災訓練のほか、お祭りやスポーツイベント等でも活用しており、小さなお子様連れからも好評です。

管理・運用もしやすい モバイルトイレ

🚗 普通免許でけん引

付属のドーリーで設置位置の微調整が手押しで可能
普通車用駐車スペースで保管が可能

⚡ さまざまな電源で稼働

電動車や発電機、家庭用コンセントにも接続可能
必要電力：トイレ、温水洗浄便座、エアコン 各1500W (最大計4500W)

💧 トイレは真空式(節水型水洗)で衛生的

タンク容量：90リットル ※使用回数：約100回(連続使用約1日分)

🚰 上下水道への直結ができる

使用回数の上限がない定置型としての設置が可能

🚗 カーラッピングにも対応

自治体や企業のイメージにあわせた車体デザインが可能

